

令和7年度 事務事業マネジメントシート			段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					3900	教育内容・方法の充実事業（郷土を学ぶ体験学習事業）					教育委員会事務局学校教育部	学校教育推進課
1 事業概要			中事業番号		1044								所属コード	522000	
政策体系			SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）		
大綱（取組）	Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」		4.7	○	6-2							各学校の児童生徒の既習の学習内容や実態に応じて、貸切バスを利用して郡山市内の文化的施設や歴史的な施設を見学及び学習する。	次代を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を体験する活動を通して、郷土の誇りと郷土を愛する心を育てる。		
施策	3 一人ひとりの個性を伸ばし、すべての子どもが輝くまち														

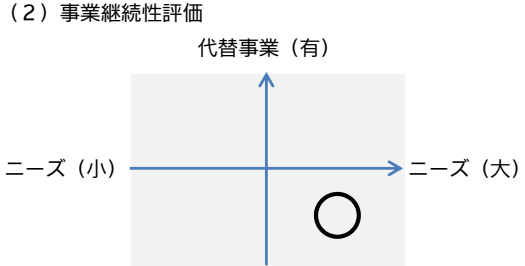
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
都市化が進み、地域住民同士の関係も希薄になるなど、郷土に対する関心が薄れ、地域間のつながりも弱まっていた。		郷土には、他市に誇れる多くの史跡、自然があり、郷土の良さを学ぶことができる。最近は、大安場史跡公園が整備されたり、福島再生可能エネルギー研究所などの新しい見学施設が増えたりして、地元の歴史や産業に興味をもつ機会が増えた。		古代から現代の郡山について体験学習を実施することは、今後の郡山市を担う児童生徒の育成に大きな意義をもつ。また、郡山市だけではなく、こおりやま広域圏16市町村にも視野を広げ、史跡や自然についての理解をさらに深めさせることが重要である。		各学校や保護者からも好評である。また、他市町村からも強い関心を持たれている。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	対象の児童生徒数（小学4年生）	人		2,522		2,636		2,785								
活動指標①	文化、歴史的施設見学会実施回数	回	1	1	1	1	1	1	1		1		1	1		
活動指標②	郷土を学ぶ体験学習資料改訂委員会開催回数	回	4	4	7	6	7	6	4		4		4	4		
活動指標③																
成果指標①	文化、歴史的施設見学参加人数	人	3,000	2,522	3,000	2,636	3,000	2,785	3,000		3,000		3,000	3,000	3,000	3,000
成果指標②	アンケートによる郷土の歴史や文化の理解度（R3～）	%	100	93	100	94	100	94	100		100		100	100	100	100
成果指標③	事業実施後の「ふりかえり学習」の実施（R3～）	校	50	51	50	51	50	51	50		50		50	50	50	50
単位コスト（総コストから算出）	文化、歴史的施設見学参加者1人あたりのコスト	千円		4.5		4.4		3.5	4.3		4.3		4.3	4.3		
単位コスト（所要一般財源から算出）	文化、歴史的施設見学参加者1人あたりのコスト	千円		4.5		4.4		3.5	4.3		4.3		4.3	4.3		
事業費		千円		7,071		6,048		7,747	7,095		7,095		7,095	7,095		
人件費		千円		4,251		5,503		1,879	5,503		5,503		5,503	5,503		
歳出計（総事業費）		千円		11,322		11,551		9,626	12,598		12,598		12,598	12,598		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		11,322		11,551		9,626	12,598		12,598		12,598	12,598		
歳入計		千円		11,322		11,551		9,626	12,598		12,598		12,598	12,598		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
令和6年度同様、小学校4年生を対象とし、参加希望の児童が参加する施設見学会を計画した。		各校より提出された実施報告書からは、施設見学会や、見学を通して児童が学んだことをタブレットや新聞にまとめて共有することを通して、多くの児童や教職員が郷土への興味・関心を高めるとともに、地域の文化や歴史についての理解を深めることができた様子を確認することができた。		【事業費】 バスにかかる費用が高騰したことから事業費が増加している。	
				【人件費】 教育内容・方法の充実事業費のうち他事業にかかる人件費の変動があったが、郷土を学ぶ体験学習事業にかかる人件費は大きな変動はない。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



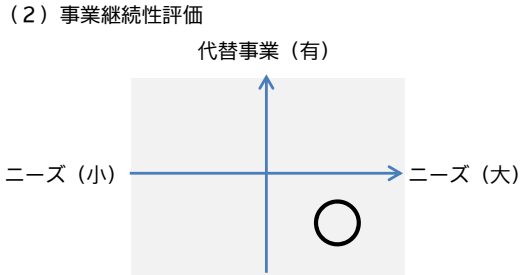
継続	一次評価コメント
小学4年生を対象とした郷土の歴史や文化に触れ、体験する活動を通して、郷土への誇りと郷土を愛する心を育むことができている。今後も広い視野をもって活動することを大切にし、内容をより充実させていく必要がある。また、郷土を学ぶ体験学習資料は、体験活動だけでなく、社会科の授業等においても活用できる副読本として有効な資料となっている。資料作成については、委員を務める教員の研鑽や、社会科教員のリーダーを養成する意義という観点からも、継続していく必要がある。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
			○		

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4



継続	二次評価コメント
令和6年度は市内51校の小学4年生を対象として文化、歴史的施設見学会を計画どおり実施した。見学会は各学校の要望に応じて訪問先を決定しており、学校のニーズに合ったサービスを提供した。参加校全てで「ふりかえり学習」を実施しており、郷土への興味・関心を高める取組も行っている。また、体験学習資料の質を高めるために委員会を開催し、中学校で使用する学習資料の改訂作業を行った。アンケートによると、郷土の歴史や文化の理解度も高い評価となっており、本事業の成果がうかがえる。今後においても、郷土の歴史や文化を体験する活動を通して、郷土の誇りと強度を愛する心を育てるため、継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画